

調査概要

1) 調査概要

【調査目的】

国民スポーツ大会が開催地住民に与える社会的効果を検証する。

【調査方法・調査対象】

「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」(第 80 回国民スポーツ大会および第 25 回全国障害者スポーツ大会、以下「国スポ・障スポ」と略記)の会場のひとつである青森県青森市に在住する 18 歳以上の住民 2,000 名を対象とした郵送法。サンプリングで市内の地区別の人口構成比に応じた割り付けを行い、対象者には質問紙またはウェブアンケートによる回答を求めた。

【有効回答数】

958(有効回収率 47.9%)

【調査時期】

2026 年 2～3 月

国スポ本大会および障スポ開催(2026 年 10 月)後に、今回回答のあった対象者に 2 回目の調査を実施予定。

【主な調査項目】

- 1) スポーツ・身体活動・生活習慣: 1 年間の運動・スポーツ実施頻度、みるスポーツ・ささえるスポーツ、余暇における中高強度の身体活動、日常生活における中高強度の身体活動、生活習慣
 - 2) 国民スポーツ大会への関与・意識: 大会の認知、大会の詳細に関する認知、冬季大会への関与、国スポ本大会・障スポの観戦意向、あおもり国スポ・障スポについての意見
 - 3) 暮らしに関する意識: 幸福度、地域における付き合い(社会関係)、社会関係の正の側面、社会関係の負の側面、孤独感、市の住みやすさ・今後の居住意向
- その他基本属性など

2) 体制

本研究は以下の体制で実施した。所属・肩書はすべて 2026 年 3 月時点のものである。

研究代表者 神野 賢治(富山大学教育学部 准教授)

調査担当 宮本 幸子(笹川スポーツ財団 シニア政策ディレクター)

郡山さくら(笹川スポーツ財団 政策オフィサー)

神野先生は 2026 年 5 月に逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、本研究の企画・設計に多大なご尽力をいただいたことに深く感謝申し上げます。なお、本報告書の分析および執筆は笹川スポーツ財団が担当いたしました。

3) 調査結果を読む上での注意点

本文および図表中のパーセント表示は、小数点第二位を四捨五入した値を記載しているため、合計が100%にならない場合がある。

4) 基本属性

本調査における回答者の基本属性は以下のとおりである。

